

小石原焼 カレー皿 (導化釉)

小石原焼は福岡県朝倉郡東峰村にて焼かれる伝統的な陶器。
また、導化釉とは伊羅保釉の事で、主に小石原焼、小鹿田焼、高取焼で使われている名称です。
特長としては、手触りが荒く、光沢のないマットな仕上げとなります。

導化釉独特のマットな質感がユニークな表情を醸し出したカレー皿は、
ゼブラのような模様がくし目で表現されています。



小石原焼 カレー皿 (導化釉)

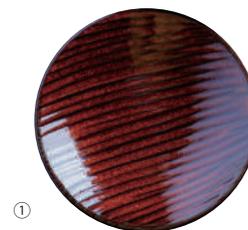
商品番号 45033555 **7,980円**

- 小石原焼
- サイズ φ21/H4cm

※手作りの為、色やサイズが多少異なる場合があります。
※緑文字の商品は通常と掛け率が異なりますのでご確認ください。

小石原焼 くし目皿 (飴釉)

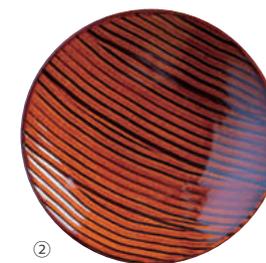
飴釉とは鉄釉の一種で、焼き色で褐色になる釉薬。滑らかな光沢が特徴です。
刷毛目にのる釉薬のグラデーションが美しい、見た目にも楽しめる一品。



① 小石原焼 くし目皿4寸 (飴釉)

商品番号 45033556 **1,780円**

- 小石原焼
- サイズ φ12.5/H2.5cm



② 小石原焼 くし目皿7寸 (飴釉)

商品番号 45033557 **4,200円**

- 小石原焼
- サイズ φ21/H3.5cm

※手作りの為、色やサイズが多少異なる場合があります。
※緑文字の商品は通常と掛け率が異なりますのでご確認ください。